

**「蒲田西特別出張所跡地（仮称）西蒲田七丁目複合施設」  
整備計画（案）説明会  
【議事要旨】**

日 時：【1回目】令和5年1月20日（金）19時～（19時45分終了）  
【2回目】       "       21日（土）10時～（10時55分終了）

会 場：蒲田西特別出張所 7階会議室

参加者：29名（内訳：①18名、②11名）

説明内容：	1 開会あいさつ	施設整備課長
	2 土地の背景・土地の概要など	施設整備課担当者
	3 入所施設の概要	各所管課担当者
	4 配置計画（案）	施設整備課担当者
	5 今後のスケジュール	施設整備課担当者
	6 質疑応答	各所管課担当者
	7 閉会あいさつ	蒲田西特別出張所長

6 質疑応答（■住民 ○行政）

**【1回目：令和5年1月20日 19:00～】**

■ 「蒲田西特別出張所」の移転先について

「都区合同庁舎」に移転するという認識で合っているのか。

○ そのとおり。令和8年度に「都区合同庁舎」の1階、2階に移転予定である。

■ 40代～60代をターゲットとした施設について

以前、蒲田陸橋の下にあった40～60代の働き盛りの世代を対象とした「働く青年の家」のような、一番忙しくてストレスを抱えている世代が、本を読んだり、情報が得られたり、余暇を楽しむことのできる施設を要望する。

子育て支援や就労支援は理解できるが、利用するケースは少数だと思うため、今回は無理かもしれないが、今後、中高年層を支援する施設の整備を要望する。

○ 「フラットおおた」は、15-39歳までの枠組みで総合的に支援を行い、大森地区に開設後の2か月で20代を中心に相談窓口には、延べ200名を超える多くの若者にご利用いただいている。また「JOBOTA」は就労先が決まらない場合などの支援・相談を受ける機能となっており、連携しながら相談機能の充実を図るものである。

- 令和5年度、国において「こども家庭庁」が発足するなど、新しい行政需要も出てきているなか、区ではこうした取組に対応していく必要がある。また、「都区合同庁舎」などにおいては、「シニアステーション」や「地域包括支援センター」があり、そちらも活用いただきたい。中高年層を対象とした余暇施設等については、生涯学習担当分野における要望として担当と共有の上、今後検討してまいりたい。

### ■ 「JOBOTA」と「ハローワーク」の違いについて

機能はどのように違うのか。

- ハローワークは、働く先を決めるための施設である。一方、JOBOTAは、仕事探しの支援のほか、家計の整理の支援や債務に関する相談、引っ越しの相談などあらゆる相談を受ける施設である。

### ■ 「防災備蓄倉庫」の要望について

施設に空きスペースがあれば、食糧等の防災備蓄倉庫の配置を要望する。必ず地震は発生し、食糧や水が不足するため、就労施設等よりも防災倉庫の整備を求めている。

- 蒲田西地区には、約3.1万世帯6.2万人の方が居住しており、「学校防災活動拠点（避難所機能）」は、9か所指定されている。「各学校防災活動拠点」は、地域、学校、区職員などが運営する施設であり、「学校防災倉庫」が整備され、避難者用の食糧等が保存されている。この近辺（徒歩5-10分圏内）であれば、「相生小学校」、「ふれあいはずぬま」、「御園中学校」が指定されているため、本施設には、各所管課の必要な機能を配置する予定である。

一昨年度、昨年度はコロナ禍で開催出来なかったが、今年度は順次、「学校防災活動拠点」の訓練をやり始めており、その中で、「学校防災倉庫」内の見学なども実施しているので、ぜひ倉庫の備蓄物を確認するとともに、訓練にも参加いただきたい。

### ■ 「ふれあいはずぬま」の「体育館、運動場の代替」について

「ふれあいはずぬま」の集会室の代替として本施設内に集会室を整備することは理解できたが、体育館や運動場については、別の場所に設ける予定はあるか。

- ふれあいはずぬまは、「旧蓮沼小学校」が廃校となった後、15年を目途に暫定利用期間として地域の方にご利用いただいていた。旧・校舎の老朽化が進む中、区では将来、「不登校特例校」を整備する計画であり、この計画では引き続き学校の機能として「体育館」や「運動場」を整備する予定である。ただし、地域開放が可能かどうかは、現在検討を進めている特例校の運営に支障が無い場合になる点について、ご理解をお願いしたい。別の場所に運動場や体育館を整備する予定はないこともご理解いただきたい。

■ **集会室の利用方法について**

集会室の利用に当たっては、事前申込制で利用する貸館施設となるのか。

○ そのとおり。

■ **「コミュニティスペース（ロビー空間）」の整備について**

コミュニティ施策として地域全体を捉えた一般的な「開放施設」を整備する流れもあると聞いているが、「コミュニティスペース」の検討はされていないのか。

○ 本施設は面積等の制約もあるため、そこまで広いロビー空間は設けられず、イメージなされている「交流空間」の整備は難しいと考えている。一方で、「カムカム新蒲田」の1階には、イスや机を配置し、ロビーで少しでも交流が出来る空間を設けている。

区の生涯学習担当では、誰もがふらっと来て集える空間の取組を進めていく動きもあり、今後の公共施設整備に当たっては、そのようなスペースを設置することも検討していきたい。

■ **「文化センター」のような「開放施設」の要望について**

この地区は、「文化センター」のような一般的な「開放施設」が少ない地域と認識しており、ぜひ、そのような施設の設置を考えていただきたい。公共施設は、高齢者が気候変動から逃避するための役割も求められているため、可能であれば、そのような機能は検討いただきたい。

○ ご意見として承る。

**【 2回目：令和5年1月21日 10：00～】**

**■ 災害対策について**

これから大地震が起きることを踏まえて災害時における本施設の位置付けはどのようなになっているのか。

- 蒲田西地区において管内の「学校防災活動拠点（避難所機能）」は、9か所指定をされている。この近辺（徒歩5-10分圏内）であれば、「相生小学校」、「ふれあいすぬま」、「御園中学校」が指定されており、震災、風水害においてもこれらの施設を活用し、関係機関と連携して災害に立ち向かう計画をしている。

**■ 蒲田西特別出張所管内において「学校防災活動拠点」が9か所で充足するのか**

- 蒲田西地区には、約3.1万世帯6.2万人の方が居住しており、9か所の「学校防災活動拠点」に避難いただく計画で、17町会がそれぞれ割り振られている。「各学校防災活動拠点」は、地域、学校、区職員などが運営する施設で、避難者の食糧等が保存されている。そのため、本施設においては、防災機能を予定していない。

**■ 「文化センター（スポーツ施設）」について**

「文化センター」や「スポーツ施設」を整備して欲しい。昨日も参加したが、意見を聞いて計画を直そうという意思が全くみえず、経過報告、結果報告のような形でしか私には映らなかった。この地域には何が無いのか、新しいものを取り入れて欲しい。なぜ、「スポーツ施設」が欲しいかという、大田区は要介護を減らそうと力を入れていると感じ、私は、テニスも野球もやっているが、この辺りにはそのような施設がなく、小中学校の体育館や校庭を借りるしかない。

- 本施設に関しては、建物を大きく建てられないなど一定の事情はあるが、健康の観点から「スポーツ施設」の整備は大事だと考えている。区として引き続き検討する。
- 区では、「人生100年を見据えた健康寿命の延伸プロジェクト」という施策を打ち出している。蒲田西特別出張所での取組としても、「カムカム新蒲田」の地下2階の多目的ホール（定員450名）を活用し、「かまにし絆プロジェクト」として、町会の方に参加いただき、身体を動かす健康イベントを開催した。コロナを受けて制限を設けて実施していたが、コロナが落ち着いたのちには、より広く周知し、たくさんの方にご利用いただきたい。

高齢者が元気に身体を動かせる施設は重要だと認識しているが、本施設については、「スポーツ施設」は整備しないため、今ある施設をご利用いただきたい。

**■ 「文化センター」について**

「文化センター」的な施設を期待していたため、説明を聞いて残念であった。可能であれば、高齢者向けの「スポーツ施設」は必要だと思っている。「図書館」の整備や「集会室」においては、文化的な講習会を開催いただけるよう期待してい

る。「カムカム新蒲田」は利用したことないが、高齢になったら移動に苦労するため、コミュニティバスを走らせるなど利用促進に繋がる仕組みを検討いただきたい。

- 「集会室」については、ダンスや踊りなどもご利用いただけるような工夫をさせていただき。隣接する「都区合同庁舎」には、高齢者向けの運動プログラムを企画する「シニアステーション」等が整備されるため、ぜひ活用いただきたい。
- 福祉施策として、「介護予防」、「フレイル予防」など、元気にいきいきと地域で暮らしていける地域づくりを進めていきたいと考えている。その一環として、「都区合同庁舎」には、「社会福祉協議会」や「シルバー人材センター」、「シニアステーション」などの高齢者向けの施設の整備に向けた取組を進めている。

このような施設の整備を契機として、区取組の周知・啓発にも力を入れていきたいと考えている。今後ご要望があれば、福祉の担当部署までお気軽にご連絡いただきたい。

#### ■ 「集会室」の使用料金について

使用料金はいくらとなるのか。器具や機材も使用料金が発生するのか。

- 現時点ではまだ決定していないが、令和7年度のオープンに向けて、令和5年度の設計過程の中で、適正な価格となるよう検討を行っていく。

#### ■ 今後の説明会の予定について

今回、町会の回覧板において説明会の開催を知った。今後の説明会や意見交換の場の予定、頻度は。

- 説明会に関しては、来年度以降の設計段階、「中高層説明会」や工事前の「工事説明会」を予定している。

#### ■ 説明会等の周知方法について

回覧板は、町会員しか閲覧できないため、行政の発信と住民が意見を言えるようなプラットフォームの整備や若い世代が認知できるよう幅広い周知方法の工夫や積極的に地域と交流を図るようなきめ細やかな対応をお願いしたい。

- 今回の説明会については、蒲田西特別出張所管内の区設掲示板への掲示や町会の回覧板での回覧に加え、「ふれあいはずぬま」や「蒲田西特別出張所」など、公共施設での掲示や配布、区のホームページで周知をした。より良い周知方法について今後も検討していく。

#### ■ 「不登校特例校」の整備について

将来予定している「不登校特例校」について、大切な役割を担う施設の整備に当たっては、地域に対して丁寧な説明を重ねていただきたい。

新しい取組であるとともに学区域を越えて登校する児童・生徒が多くなる。スムーズな運営をするために地域住民の思いを理解し、受入れ、交流をすることが

必要と考えており、行政の手腕が問われる。そのために今後の整備に向けて、当該施設を受け入れることになる「地域と一緒に考える場（機会）」を作っていただきたい。

- 「不登校特例校」については、令和 12 年度の開校に向け、現在、基本構想・基本計画の検討をしている。先日のふれあいはずぬまでの説明会（令和 4 年 10 月 21 日、同 25 日）でもお話ししたが、基本構想・基本計画の取りまとめに当たり、地域の方のご意見をいただく機会を設ける予定である。

#### ■ 「集会室」など、上履き持参の改善について

「カムカム新蒲田」の地下の多目的室は、上履きが必要なため、持参するのが面倒で使い勝手が悪いと感じている。身一つで利用できるよう検討いただきたい。

- ご不便をおかけしており申し訳ない。現在は、乳幼児も利用することから、衛生上、清掃頻度等の観点から履き替えをお願いしているためご理解いただきたい。使い勝手が改善出来るよう引き続き、検討させていただく。

以上